

施策名：人に優しい安全で安心な交通社会の実現

事業名	担当課・室名	ページ
高齢者交通安全対策推進事業	生活環境企画課	1 / 6
高齢者交通事故防止総合対策事業	交通企画課	2 / 6
共生のまち整備事業	建設政策課	3 / 6
身近な道改善事業	道路保全課	4 / 6
交通安全事業	道路保全課	5 / 6
交通安全施設整備事業	交通規制課	6 / 6

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	高齢者交通安全対策推進事業	事業期間	平成28年度～平成30年度	政策区分	安全・安心を実感できる暮らしの確立
総合評価	A	事業実施課(室)名	生活環境企画課	施策区分	人に優しい安全で安心な交通社会の実現
	継続・見直し			評価者	生活環境企画課長 藤本 哲弘

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	県内の交通事故発生件数が減少している中、全交通事故死者数に占める高齢者の割合、高齢者が加害者・被害者となる交通事故の割合は高水準で推移している。	事業の目的	高齢運転者を対象とした運転免許証の自主返納支援制度の拡充及び高齢者に制度を周知するとともに、体験型の講座を開催して高齢者の安全行動を習慣化させることにより、高齢運転者の免許証の自主返納を促進し、高齢者の加害・被害交通事故の防止を図る。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①高齢運転者免許自主返納支援 運転免許証を返納した高齢者に割引等の支援を実施する「サポート加盟店」の周知 ②高齢者に対する交通安全教育 危険予知トレーニング、歩行環境シミュレーター等を体験する「いきいき交通安全体験講座」を開催(18市町村)	①	1,207	総コスト		11,330	11,859
	②	412	事業費		1,330	1,859
	③		(うち一般財源)		1,330	1,859
	④		人件費		10,000	10,000
	計	1,619	職員数(人)		1.00	1.00

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価割合	評価
	自主返納支援 サポート加盟店数(店舗)	目標値			300	600		600	75%	目標値					
	実績値			583			実績値								
	達成率			194.3%			達成率								
いきいき交通安全体験講座 参加者数(人)	目標値			1,600	1,600	1,600	25%	目標値						a	
	実績値			1,825				実績値							
	達成率			114.1%				達成率							

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(30年度)	評価	事業の成果
高齢運転者免許 自主返納者数(人)	目標値			2,600	3,500	4,000	a	自主返納者数は5年連続で増加し、平成27年度から2年連続で2,000人を超えている。また、高齢者の交通事故死者数は3年連続で減少している。なお、全年齢の交通事故死者数は42人であり、統計を取り始めた昭和27年以降2番目に少ないものとなった。
	実績値			2,927				
	達成率			112.6%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 高齢運転者への運転免許証の自主返納制度及び自主返納支援制度の周知の強化 高齢者の安全行動を習慣化させる「いきいき交通安全体験講座」の参加者の確保 	今後の方向性	終了 継続・見直し 例外的に継続 廃止
		今後の事業方針	<ul style="list-style-type: none"> 県関係機関及び県警と連携した自主返納制度及び自主返納の支援制度の周知及び普及啓発 高齢者に対する交通安全教育としての巡回型の講習「いきいき交通安全体験講座」の継続実施

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	高齢者交通事故防止総合対策事業		事業期間	平成27年度～平成31年度		政策区分	安全・安心を実感できる暮らしの確立		
				施策区分	人に優しい安全で安心な交通社会の実現				
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	交通企画課		評価者	交通企画課長 横山 弘光		

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	交通事故発生件数や負傷者数は減少しているものの、高齢化の進展に伴い、高齢者が当事者となる死亡事故が多発しており、高齢運転者による人身事故の割合も年々増加していることから、高齢運転者・歩行者両面からの交通事故防止対策が課題となっている。	事業の目的	高齢者宅訪問による交通安全アドバイスの実施や参加・体験型講習等、加害・被害両面からの対策を推進することにより、高齢者の交通事故の減少を図る。
-------	---	-------	--

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①高齢歩行者セーフティサポート事業 高齢歩行者事故多発地域において、高齢者宅訪問による交通安全アドバイスや街頭での広報啓発を実施	①	2,113	総コスト	13,852	15,864	17,418
②地域包括支援センター・民生児童委員との連携による高齢者の交通事故及び特殊詐欺被害防止対策事業	②	1,283	事業費	1,852	3,864	5,418
③高齢者宅への訪問活動を通じた交通安全アドバイスの実施 反射材(30,000本)の作成・配付	③	1,255	(うち一般財源)	1,852	3,864	5,418
④参加体験型講習用機材(危険予測トレーニングシステム)の運用 危険予測能力向上のための講習用機材を活用した安全運転教育を実施(505回)	④		人件費	12,000	12,000	12,000
	計	4,651	職員数(人)	1.20	1.20	1.20

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(31年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年	28年	29年	最終達成(31年)	評価割合	評価
	高齢者宅の訪問数(戸)	目標値		2,160	4,794	4,794		4,794	45%	参加体験型講習用機材による講習(実施回数)	目標値	60	360		
実績値			2,221	4,170			実績値	53			505				
達成率			102.8%	87.0%			達成率	88.3%			140.3%				
地域包括支援センター等との連携(地区数)		目標値		77	77	77	77	28%	目標値						
		実績値		77	77				実績値						
		達成率		100.0%	100.0%				達成率						

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年	28年	29年	最終達成(31年)	評価	事業の成果	
	高齢者死傷者数(人)	目標値		1,145以下	1,127以下	1,109以下		1,074以下	a
実績値			1,134	1,154					
達成率			101.0%	97.6%					

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> 関係機関・団体と連携した交通安全啓発活動の充実 講習用機材の活用による参加・体験型交通安全教育の充実 	今後の方向性	終了 継続・見直し 例外的に継続 廃止
		今後の事業方針	<ul style="list-style-type: none"> より一層効果的な訪問指導や街頭啓発活動を行うため、必要に応じてセーフティサポーター等への研修会を開催 参加体験型講習用機材による講習実施状況を踏まえ、警察署担当者に対する必要な指導を実施

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-9

事業名	共生のまち整備事業		事業期間	平成 3 年度～平成 年度	政策区分	安全・安心を実感できる暮らしの確立
					施策区分	人に優しい安全で安心な交通社会の実現
総合評価			事業実施課(室)名	建設政策課	評価者	建設政策課長 麻生 卓也

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	すべての県民が自立して生き生きと生活し、人と人との交流が深まる共生型の地域社会を実現するため、社会活動への参加を妨げる行動面での障壁を取り除くことが課題である。	事業の目的	すべての県民が安心して快適に生活できる環境を整備するため、県が設置または管理する既存の公共施設のバリアフリー化およびユニバーサルデザイン化を推進する。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①歩道等の改良 段差解消、側溝蓋改修、視覚障がい者誘導用ブロックの設置等 ②県有施設の改修 通路のスロープ化、手すりの設置、多機能トイレの整備等 ③交通環境の整備 視覚障がい者用音響装置の設置、視覚障がい者用誘導表示の設置等	総コスト	80,000	80,000	80,000
	事業費	80,000	80,000	80,000
	(うち一般財源)	8,000	8,000	8,000
	人件費			
	職員数(人)			

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
		目標値						
		実績値						
		達成率						

高齢者、障がい者等にとって社会活動への参加を妨げる障壁除去が推進され、共生社会への一助となっている。

[整備箇所数等]

	平成28年度 施工箇所数等	平成28年度までの 整備箇所数等
歩道等の改良延長	2.0 km	214.5 km
県有施設改修箇所	5 箇所	245 箇所
交通環境整備箇所	8 箇所	998 箇所

[参考] [整備箇所数等]

	平成27年度 施工箇所数等	平成27年度までの 整備箇所数等
歩道等の改良延長	2.6 km	212.5 km
県有施設改修箇所	6 箇所	240 箇所
交通環境整備箇所	8 箇所	990 箇所

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

別紙2-4

(評価実施年度：平成29年度)

事業名	身近な道改善事業		事業期間	平成25年度～平成 年度		政策区分	安全・安心を実感できる暮らしの確立	
				施策区分	人に優しい安全で安心な交通社会の実現			
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	道路保全課		評価者	道路保全課長 和田 敏哉	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	狭い路肩の拡幅や歩行空間の改善など、地域住民にとって身近な道路に関する改善の要望が多く、より迅速に対応することが課題である。	事業の目的	生活道路の改善を行うことにより、利用者の「利便性」及び「安全性」の向上を図る。
-------	--	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①歩道や路肩に対する歩行空間の改善 路肩改善：51件、歩道改善：38件、簡易歩道：4件、視認性改善：17件、 街路樹の見直し：7件等	①	800,000	総コスト	862,000	864,000	864,000
	②		事業費	800,000	800,000	800,000
	③		(うち一般財源)	286,000	283,000	87,000
	④		人件費	62,000	64,000	64,000
	計		800,000	職員数(人)	6.20	6.40

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
			目標値	実績値	達成率					目標値	実績値	達成率			
着手箇所数(箇所)	着手箇所数(箇所)	目標値	120	120	120		100%		目標値						a
		実績値	109	117		実績値									
		達成率	90.8%	97.5%		達成率									
	目標値					目標値									
	実績値					実績値									
	達成率					達成率									

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果
			目標値	実績値	達成率			
完了箇所数(箇所)	完了箇所数(箇所)	目標値	780	880	980		a	地域住民からの要望に迅速に対応しており、要望箇所については今年度117箇所の対策を行った。
		実績値	702	807				
		達成率	90.0%	91.7%				

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
<ul style="list-style-type: none"> 依然として多い地域住民の歩道や路肩の改良など身近な生活道路に対する要望への対応 防草対策や植樹帯の見直し等多様化する要望への対応 	今後の事業方針 ・本事業に対しての地元要望は多く、引き続きそのニーズにきめ細かに応えることができるよう事業を継続				

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-9

事業名	交通安全事業		事業期間	平成	年度～平成	年度	政策区分	安全・安心を実感できる暮らしの確立
							施策区分	人に優しい安全で安心な交通社会の実現
総合評価			事業実施課(室)名	道路保全課		評価者	道路保全課長 和田 敏哉	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	交通事故件数や負傷者数は減少傾向にあるものの、高齢化の進展に伴い、高齢者が当事者となる死亡事故が多発している。また、歩行者や自転車利用者の死亡事故の割合は依然として高い。	事業の目的	交通事故防止を図るため、歩行者・自転車・高齢者等の利用に配慮した整備を推進し、交通事故防止を図る。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
	①(公)交通安全事業：歩道、自転車道、交差点改良等 ②(単)交通安全事業：道路付属物の整備、交通安全施設の維持・補修、カラー舗装等の交通弱者事故対策等 ③(単)側溝整備事業：排水溝未整備箇所の整備、排水溝の断面改修、流末修繕等 ④(公)地域活力基盤交通安全事業：歩道、自転車道、交差点改良等	総コスト	8,142,475	5,843,409
事業費		8,142,475	5,843,409	4,281,838
(うち一般財源)		871,311	659,097	638,935
(うち繰越額)		3,381,274	3,347,334	881,168
人件費				
職員数(人)				

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価	事業の成果	
		目標値							
		実績値							
		達成率							

「交通安全施設等整備事業の推進に関する法律」に基づき、歩道・自転車歩行者道の整備、交差点の改良、道路標識の設置等、交通安全施設を整備し、歩行者等の安全の確保と交通事故防止対策を実施した。
成果については、以下の表のとおり。

路線等の概要

事業名	区分	平成28年度事業実施路線	事業箇所数
(公)交通安全事業	交通安全	国道213号ほか34路線	全49箇所
(単)交通安全事業	交通安全2種	国道197号ほか県内一円	県内一円
	交通安全施設維持	国道197号ほか県内一円	県内一円
	災害防除	主要地方道山香国見線ほか県内一円	県内一円
	弱者事故対策	国道213号ほか54路線	全94箇所
(単)側溝整備事業	側溝整備	国道213号ほか県内一円	県内一円
(公)地域活力基盤交通安全事業	交通安全	国道213号ほか37路線	全51箇所
	災害防除	一般県道中津留轟牧口停車場線ほか県内一円	県内一円
	修繕	国道212号ほか県内一円	県内一円

事務事業評価調書

(事業実施年度：平成28年度)

(評価実施年度：平成29年度)

別紙2-4

事業名	交通安全施設整備事業		事業期間	昭和46年度～平成 年度	政策区分	安全・安心を実感できる暮らしの確立	
総合評価	A	継続・見直し	事業実施課(室)名	交通規制課	施策区分	人に優しい安全で安心な交通社会の実現	
					評価者	交通規制課長 三浦 一也	

[1. 現状・課題、目的]

現状・課題	交通事故発生件数及び負傷者数は減少傾向にあるものの、交通環境の著しい変化に対応するため、交通安全施設の整備等による交通事故防止対策が課題となっている。	事業の目的	県民が快適な交通社会の中で安全に暮らせるよう、道路交通規制標識・標示や信号機の整備を図る。
-------	---	-------	---

[2. 事業内容]

(単位：千円)

活動名及び活動内容	番号	主な活動の予算額	コスト	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(予算)
①事故危険箇所対策等の推進 信号機の新設(26基)、高度化(71基)	①	330,256	総コスト	703,800	678,522	783,678
②交通環境の改善に伴う交通安全施設等の整備等 道路標識(226本)、道路標示(16km)	②	46,998	事業費	688,800	663,522	768,678
③歩行空間のバリアフリー化 視覚障害者用誘導標示の設置(250.2m)	③	7,506	(うち一般財源)	190,125	216,980	174,443
④ゾーン30対策の推進 ゾーン30(最高速度30km/h区域)規制の実施(5箇所)	④	4,060	人件費	15,000	15,000	15,000
	計	388,820	職員数(人)	1.50	1.50	1.50

活動指標	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	指標名(単位)	達成度	27年度	28年度	29年度	最終達成(年度)	評価割合	評価
	信号機の新設数(基)	目標値	30	26	19			85%	視覚障害者用誘導標示の整備数(m)	目標値	250	250	194		
	実績値	30	26					実績値	250	250					
	達成率	100.0%	100.0%					達成率	100.0%	100.0%					
指定道路の道路標識の整備数(本)	目標値	260	226	113			12%	ゾーン30規制の実施(箇所)	目標値	6	5			1%	
	実績値	260	226					実績値	6	5					
	達成率	100.0%	100.0%					達成率	100.0%	100.0%					

評価割合の合計は、端数処理上100%にならない場合があります。

[3. 事業の成果]

成果指標	指標名(単位)	達成度	27年	28年	29年	最終達成(年度)	評価	事業の成果
交通事故死傷者数(人)	目標値	6,500以下	6,343以下	6,242以下			a	高齢者等の事故防止を図るため、生活道路等における道路標識等の整備を実施するとともに、ゾーン30規制の実施、信号機の新設・高度化を推進するなど、交通環境の改善を行った。
	実績値	6,480	5,904					
	達成率	100.3%	106.9%					

[4. 今後の課題と方向性等]

今後の課題	今後の方向性	終了	継続・見直し	例外的に継続	廃止
・事業箇所・内容を検討の上、集約発注を行うことによる効率化、コストの削減	今後の事業方針 ・生活道路等における交通安全対策の推進 ・信号機の改良・高度化の推進				